

第262回

# 荒川の人

荒川区は魅力にあふれた第二のふるさと。  
滑稽噺に磨きをかけ、たくさんの笑顔届けたい!

落語家 **春風亭 一左さん**

【プロフィール】1979年神奈川県秦野市生まれ。2004年春風亭一朝に弟子入り。2008年二ツ目昇進。サンポップマチヤで定期的に開催される「サンポップ寄席」などの高座に上がり古典落語を披露する一方、本紙の名物企画のひとつでもある「あらかわクエスト」に毎月登場。来たる3月21日に念願の真打ち昇進を果たす。昇進を機に故郷・秦野市の「はだのふるさと大使」に就任予定。落語協会サーフィン部のメンバーでもある。



「サンポップ寄席」でも馴染みの春風亭一左さん。10年以上にわたり町屋に住み、呑み、そして芸を磨いてきました。住み慣れた町屋からは引っ越したそうですが、現在もなお荒川区に住み続けています。街の魅力、落語家としてのこだわり、そして真打ち昇進を直前に控えた現在の心境などを存分に語っていただきました。

## 空間を支配できる落語に魅せられて 3月21日、ついに真打ちへ

「昇進の知らせをいただいた瞬間は、落語家として改めて覚悟を決める気持ちが強く湧いてきました」真打ち昇進は一人前の落語家としてのスタートラインに立つこと。喜びは寄席のお手伝いなどから解放される二ツ目になった時の方が大きかったそうです。

一左さんと落語の出会いは今から16年前にさかのぼります。もともと芝居やお笑いなどに関心があり、表現の勉強になれば、という軽い気持ちで上野の鈴木演芸場へ。そこで目の当たりにしたのが春風亭一朝師匠の落語でした。「芝居では主役なんて簡単に務めることはできませんが、主役はおろか空間すべてを独り占めできてしまう落語に衝撃を受けました」初めての落語体験からわずか2日後には弟子入りを志願。「落語家になる方法なんて知るはずもありませんから、後先考えずに師匠が演芸場から出てく



第24回「サンポップ寄席」は3月29日(日)に開催。真打ちに昇進したばかりの一左さんの噺にも乞うご期待です。

るのを待っていました。人生である時ほど緊張したことはありませんね」

見習いとして1年、高座に上がることを許される前座を3年、そして独り立ちの第一歩でもある二ツ目を務めること12年。足かけ16年間の修業期間を経て、いよいよ3月21日に真打ちへの昇進を果たします。

一左さんの持ち味は師匠譲りの江戸っ子の粋を感じる語り口。「落語の世界に身を置くようになって現在のようにな話し方になりました。『昔っばい噺家だね』って言われることも多いです。前座修業を終えた頃、久しぶりに会った友人からは大笑いされましたよ」と苦笑する一左さん。自然と身にしみついたその軽妙な語り口こそ、稽古を積み重ねた努力の証拠に他なりません。

## 楽しいこともそうでないことも 成長を見守ってくれた街・町屋

「前座1年目の頃、不動産屋さんにとまたま町屋の物件を紹介されたのがきっかけで住み始めました。交通の便もいいですし、都電荒川線も走っていて賑やかな雰囲気もあり、すぐに気に入ったのを覚えています」町屋でお気に入りの店は、ジャンボサイズの餃子が名物の街中華「川ばた」、おでん居酒屋「乃んき」、焼き鳥の「きしだ」などなど。気取らずに一杯飲めるお店を挙げてくれるところに一左さんのこだわりを感じます。

そんな第二の故郷でもある町屋には楽しい思い出だけでなく、ほろ苦い思い出も。「仕事柄ご祝儀にピン札を使いますから、お金をタンスの中にしまっていたんですが、帰宅すると窓ガラスが破られていて……」盗難の被害額はなんと100万円!落胆した一左さんを励まそうと落語家の皆さんが一致団結し、「読みきり」と呼ばれる落語会を開くことに。売り上げの全額は一左さんに寄付されました。「読みきり」とは病気のお見舞いなどに行われる落語界ならではの慣習で、一左さんの件がきっかけで数十年ぶりに復活したものでした。困った人に手を差し伸べる落語家さ

んたちの粋な計らいは現代の人情噺として語り継がれています。

## 「ほっとタウン」で知名度アップ! 馬鹿馬鹿しい滑稽噺に真剣でありたい

一左さんといえば「ほっとタウン」の紙面でもご存じの方も多いはず。3年間にわたりさまざまなスポットを訪ね歩きました。「貴重な経験をたくさんさせていただきました。思い出深いのは荒川ケーブルテレビさんにお邪魔して実際にスタジオで収録したこと。おかげさまで『ほっとタウン』に出るようになってから声を掛けてくださる方も増えました。日暮里にある帆布専門店・茂木商工で制作したトートバッグは着物が収まる使い勝手のいいサイズで気に入っているそうです。

古典落語ひとすじ、特に滑稽噺にこだわりを持つ一左さん。現在の持ちネタは約130本にのぼるそうです。「ますます芸に磨きをかけて、これからも大好きな滑稽噺を突き詰めてまいります。真打ちになると寄席でトリを務められるようになるので二ツ目時代では扱えなかった『文七元結(ぶんしちもつとい)』をはじめとする人情噺にも挑戦したいですね」

庶民たちの人間模様を人情味たっぷりに演じる春風亭一左師匠をどうぞ、これからもごひいきに!

春風亭一左さん 襲名披露興行

### 「真打昇進襲名披露興行」

鈴木演芸場  
3月21日(土)~30日(月) 夜席  
新宿末廣亭  
4月 1日(水)~10日(金) 夜席  
浅草演芸ホール  
4月11日(土)~20日(月) 昼席  
池袋演芸場  
4月21日(火)~30日(木) 昼席  
国立演芸場  
5月11日(月)~20日(水) 昼席

一左さんの出演日はP.7をご確認ください。

1. 誰にも負けない努力をする
2. 謙虚にして驕らず
3. 反省のある毎日を送る
4. 生きていることに感謝する
5. 善行、利他行を積む
6. 感性的な悩みをしない

## 稲盛先生の『六つの精進』

6つの教えをなかなか実行できない。それでも、そうでなければならぬと思いつづけ、毎日心がけ、せまる努力が大切だと師はみんなに喝破する!



失敗してもいいじゃないか  
「心」が熱ければ!

税理士/行政書士/再生コーディネーター

## 伊坂会計総合事務所

荒川区南千住5-9-6 / ホームページ: <http://isaka-office.biz/>  
Eメール: [isaka\\_office@yahoo.co.jp](mailto:isaka_office@yahoo.co.jp)

TEL 03-3802-1418(代) 草もう税理士35年 伊坂かつやす

てっさ (大盛り 3~4人前)  
通常価格 3,500円(税込3,850円)  
特別価格 3,000円(税込3,300円)

焼きふぐ  
通常価格 1,800円(税込1,980円)  
特別価格 1,500円(税込1,650円)

ふぐ白子焼き  
通常価格 1,000円(税込1,100円)  
特別価格 800円(税込880円)

ひれ酒  
通常価格 800円(税込880円)  
特別価格 700円(税込770円)

### とらふぐ祭り

期間: 3月2日(月)~3月31日(火)まで

ふぐ唐揚げ  
1,300円(税込1,430円)

### お昼の集い

期間: 4月20日(月)まで

妻籠 2,000円(税込2,200円)

### ご宴会・食事会ご予約承ります。

※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

## 木曾路南千住店

荒川区南千住 5-6-15

電話: 03-5850-5567

### グラスドリンク人数分プレゼント

- 税抜2,000円以上の料理をご注文に限りです。
- オレンジジュース、アップルジュース、烏龍茶からお選びください。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- 2020年3月31日まで有効
- 木曾路南千住店のみ有効